

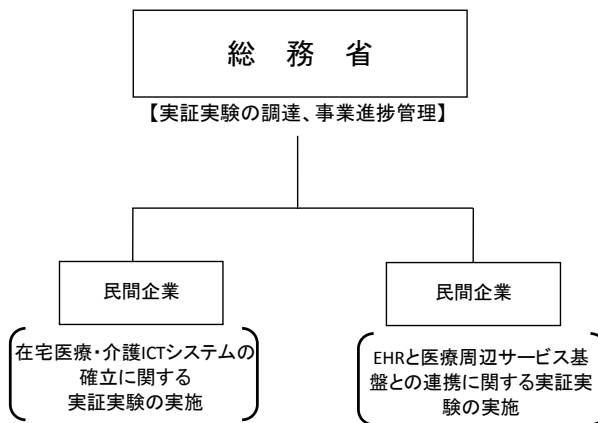
平成25年行政事業レビューシート

(総務省)

事業名	医療情報連携基盤高度活用事業		担当部局	情報流通行政局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成25年度～26年度		担当課室	情報流通高度化推進室		室長 吉田 恭子		
会計区分	一般会計		政策・施策名	V-2 情報通信技術高度利活用の推進				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	総務省設置法 第4条第76号		関係する計画、通知等	新たな情報通信技術戦略(平成22年5月11日決定) 医療イノベーション5か年戦略(平成24年6月6日) 日本再生戦略(平成24年7月31日)				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	病院・診療所・薬局等の保有する患者の医療・健康情報を、安全かつ円滑に記録・蓄積・閲覧するための医療情報連携基盤(EHR)について、在宅医療・介護に対するニーズの高まりを踏まえ、EHRを高度に活用した新たな「在宅医療・介護ICTモデル」を確立することで、日本発のモデルとして海外展開を図る。 ※EHR(Electronic Health Record): 医療・健康情報(診療情報・調剤情報等)を電子的に管理・活用できる仕組み。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	医療情報連携基盤(EHR)について、在宅医療・介護に対するニーズの高まり、医療機器と通信ネットワークの融合の進展等を踏まえ、通信ネットワーク、モバイル端末等を活用した安全かつ効率的な「在宅医療・介護ICTシステム」及びEHRと健康管理・見守り等高齢者を取り巻く医療周辺サービス基盤との間の連携に関して、実証を通じて技術的要件・運用ルール等の検証を行う。策定した技術仕様・運用指針等については「在宅医療・介護ICTモデル」として普及展開を図る。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	
		補正予算	—	—	—	260		
		繰越し等	—	—	—	0		
		計	—	—	—	260		
	執行額	—	—	—				
	執行率(%)	—	—	—				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		成果実績	単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (年度)
	本事業の成果は「在宅医療・介護ICTモデル」の策定であり、定量的な目標設定は困難			—	—	—	—	
			達成度	%	—	—	—	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		活動実績 (当初見込み)	単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	実施したプロジェクトの件数			件数	(—)	(—)	(—)	(2)
単位当たりコスト	— (円/)		算出根拠	—				
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	電気通信技術研究開発調査費	259						
	委員等旅費	0.6						
	諸謝金	0.4						
	計	260						

事業所管部局による点検						
項目			評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	・高齢者の将来的な増加、在宅医療・介護への移行等の社会動向を踏まえると、限られた医療資源を効率的に活用するためにICTの活用が不可欠であり、広く国民のニーズがある事業である。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	・本件は、国民の健康情報という非常に秘匿性の高い情報を扱うものである。また、先進諸国では国家レベルでの生涯電子健康記録の導入が進められ、さらなる普及に取り組んでいる中、我が国においても医療情報連携基盤(EHR)の構築に向けて国がリーダーシップをとり、そのルール作り等を一層進める必要がある。		
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○	・医療情報連携基盤の普及・展開により、医療の質の向上や医療費の適正化等の医療分野における課題の解決という目標の下に行われる事業であり、優先度は高い。		
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	・支出先の選定に当たっては、一般競争入札など競争性が確保される方法で実施する予定。 ・本事業は現時点では執行前であり、記載は困難		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		—			
	単位当たりコストの水準は妥当か。		—			
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		—			
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		—			
事業の有効性	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		—	・本事業は現時点では執行前であり、記載は困難		
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		—			
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		—			
重複排除	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		—	—		
	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		—			
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点検結果	<p>・本事業は、高齢者の将来的な増加、在宅医療・介護への移行等の社会動向を踏まえると、限られた医療資源を効率的に活用するためにICTの活用が不可欠であり、広く国民のニーズがある事業である。</p> <p>・本件は、国民の健康情報という非常に秘匿性の高い情報を扱うものである。また、先進諸国では国家レベルでの生涯電子健康記録の導入が進められ、さらなる普及に取り組んでいる中、我が国においても医療情報連携基盤(EHR)の構築に向けて国がリーダーシップをとり、そのルール作り等を一層進める必要がある。</p> <p>・本事業については、政府の計画に基づき、各省と連携して実施していく。</p>					
外部有識者の所見						
行政事業レビュー推進チームの所見						
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
平成22年	—	平成23年	—	平成24年	新25-0020	

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ
(資金の受け取り
先が何を行っている
かについて補足
する)(単位:百万
円)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					